



RAIL WORK LAND SCAPE 2018 ©谷尾 勇滋

岡 孝博

RAIL WORK 2015-2023

2023 9.17  - 11.5 

【開館時間】 午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】 月曜日(但し、祝祭日は開館)

【入館料】 一般 400円(300円)／65歳以上 300円(200円)

高校生 200円(100円)

※()は20人以上の団体料金(1人当たり)

中学生以下及び障害者手帳などの所持者と介助者は無料

○主催 美術館あーとあい・きさ

○後援 中国新聞社・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島
広島エフエム放送・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・ちゅピCOMおのみち
三次ケーブルビジョン・福山市・尾道市・三次市・三次市教育委員会

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、人数制限を実施、または中止させていただく場合がございます。



美術館 あーとあい・きさ

広島県三次市吉舎町吉舎546-1 TEL/FAX (0824)43-2231
E-mail kisaart-reki@pl.pionet.ne.jp



RAIL WORK APORIA III 2022年 ©谷尾 勇滋



RAIL WORK IX 2021年 ©谷尾 勇滋

RAIL WORK 2015-2023

岡は幼い頃、印刷所を営む父から使用しなくなった活字をもらいストーブの熱で溶かして遊んでいた。この体験の感動から大学生の時から、活字や活字の素材を使用し制作してきた。

また、岡は 2015 年に廃線になったプラットホームにレールを使用し作品制作した。これ以降、鉄道のレールや農具、その他のレール等を組み合わせノスタルジーと今を意識し近代と現代を繋げる独自の表現を追求している。レールの永遠性、直進性に魅力を感じながらレールをモチーフとして作品を制作しているが、この度の個展では約8年間レールを使用し試行錯誤しながら表現を模索してきた「かたち」を提示し振り返りながら、これからの制作の方向性を探る発表になる。

岡 孝博 Takahiro Oka

Profile

- 1970年 広島県 尾道市 御調町生まれ
- 1996年 日本大学藝術学部 美術学科 彫刻コース卒業
- 1998年 日本大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻 博士前期課程修了 湯川制賞
- 2011年 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 素材と創造性 研究生修了
- 1996年 第60回記念新制作展 初入選 (東京都美術館/東京) 以後出品
- 1996年 清瀬美術家展 招待作家 (清瀬市郷土博物館ギャラリー/東京) 以後出品
- 1997年 彫刻奨学金授与 (公益財団法人 北野生涯教育振興会)
- 1999年 日本大学藝術学部 美術学科 臨時職員
- 2000年 第64回新制作展 (東京都美術館/東京) 新作家賞
- 2001年 Studio BUNK HOUSE にて制作を始める/埼玉
- 2002年 個展 (なびす画廊/東京) 以後個展 13回
- 2002年 日印国交樹立50周年記念 アートシンポジウム 彫刻制作に参加/インド
- 2003年 インドラプラスタ公園 野外彫刻作品設置/インド
- 2003年 さいたま市立春里中学校 野外彫刻作品設置/埼玉
- 2005年 清瀬市郷土博物館 作品収蔵/東京
- 2006年 かたちかわるかたち 岡孝博 × 六田實之 (川越市立美術館タッチアートコーナー/埼玉)
- 2006年 かたちかわるかたち 金属造形ワークショップ+作品展 (川越市立美術館/埼玉) '08年同展
- 2007年 Re-Act (広島市現代美術館/広島)
- 2009年 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009 (松之山/新潟)
- 2010年 広島アートプロジェクト 2010 Hiroshim Art展 (広島市吉島公民館/広島)
- 2011年 アートアイランズ TOKYO 第1回 波浮港現代美術展 (伊豆大島 旧碓の丸邸/東京)
- 2011年 第71回新制作展 (国立新美術館/東京) 新作家賞
- 2012年 清瀬ゆかりの芸術家 収蔵美術品展 (清瀬市郷土博物館ギャラリー/東京)
- 2012年 新制作協会 (彫刻部) 会員推挙
- 2013年 新制作協会 (彫刻部) 審査員 (国立新美術館/東京) 以降も
- 2014年 関西新制作展 (彫刻部) 審査員 (兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー/兵庫) 以降も
- 2015年 雨引の里と彫刻 2015 りんりんロード (筑波鉄道 旧榎駅/茨城) '19 '22年同展出品
- 2018年 第7回G展 (ふくやま美術館ギャラリー/福山) 以降毎年出品
- 2018年 仮構の空間/仮像の彫刻 (東京国立博物館 柳瀬荘/埼玉)
- 2019年 平和と美術と音楽と 2019 (旧日本銀行広島支店/広島)
- 2019年 G g 2展 -11の視点- (天満屋 福山店6階 美術画廊・ギャラリー/福山) 以降毎年出品
- 2020年 茶山ポエム絵画展 審査員 (菅茶山記念館/福山) 以降も
- 2021年 ACTIVE IN MIRASAKA (三良坂平和美術館/三次)
- 2021年 第65回尾道市美術展 審査員 (尾道市立美術館/尾道) 以降も
- 2021年 鞍、鉄のアート (福山市鞍の浦歴史民俗資料館/福山)
- 2022年 「卒業制作 自刻像」 彫刻講師 (尾道市立御調西小学校/尾道) '23 (圓錐勝三彫刻美術館/尾道)
- 2022年 37Metal Works2022 (岡山県天神山文化プラザ/岡山)
- 2023年 岡孝博「RAIL WORK」2015-2023 (美術館あーとあい・きさ/三次)
- 現在 新制作協会会員 (彫刻部)

ギャラリートーク Talk

●10月14日(土) 14時～

コントラバスコンサート

●11月5日(日) 11時～

●演奏者：原田 一平

原田 一平 Profile

広島県福山市出身。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。東アジア音楽芸術教育連盟設立大会記念演奏会(中国)に出演。第21回日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門第4位。チェコにおいてチェコ国立ヤナーチェク音楽院教授ミロスラフ・イエリネク氏のレッスン受講。現在、オーケストラを中心に、ソロ、室内楽、後進の指導にも力を入れている。ジャパン・アカデミーアンサンブル ソロイスト主宰。あきクラシック実行委員会委員。瀬戸フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。四国大学短期大学部音楽科非常勤講師。コントラバスアンサンブル「ローレジスターアンサンブル」メンバー。



[アクセス]
 ・JR吉舎駅から約1.2km
 ・中国やまなみ街道
 吉舎ICから約2.5km
 [駐車場] 20台(無料)

次期企画展のお知らせ

2023年11月12日(日)～12月16日(土)
 第19回 広島日展会総合小品展